

長野県

社会福祉法人くりのみ園 福祉農園で障害者の自立と暮らしを支える

● 参入のきっかけ・目的

- ・ フードロス、地球環境等の社会問題の解決に取り組む中で、最終的に有機農業、農福連携に行き着きました。
- ・ 有機農法により鶏卵、米、大豆、野菜を栽培するほか、スイーツ等の加工も行っています。

● 参入地域（土地）を選んだ理由

- ・ 理事長の出身地であり、農地所有者等に知り合いが多かったことが理由です。

● 主な販路

- ・ ECサイト、ふるさと納税返礼品、直売所、学校給食センター、地元スーパー等に販売しています。

● 本業との相乗効果

- ・ 経営理念である「いのちはめぐる。福祉農園で障害者の自立と暮らしを支え、平飼い養鶏と自然循環農法で地域農業に貢献する。」を実践しています。

養鶏場と農場



養鶏場にて



● 自治体等からの支援

- ・ 参入当初、分散していた農地は、農地バンクの活用により集約化が進みました。

● 参入して苦労したこと

- ・ 参入当初はなかなか農地を貸してもらえませんでした。が、社会福祉法人であったこと、地道に農業生産に取り組んできたことで地域に受け入れられるようになり、規模拡大が進みました。

● 参入した成果

- ・ 就労継続支援B型→A型→法人職員として、一般就労につながっていき、さらに後輩利用者への農業指導等を行うまでになった職員もいます。

● 今後の展望

- ・ ノウフクJASの認証を受け、有利販売につなげていきたいと考えています。（地域共生社会）＋（農福連携）＋（環境再生型農業）の福祉実践（ソーシャルワーク）の深化

● 詳しい情報はこちら（会社HP）

作業の様子①



作業の様子②



ほんものの「食」の提供を通じて地域の健康づくりと農業振興に貢献 社会福祉 法人くりのみ園

★ 概要 ★

法人設立：1996年

栽培作物：鶏卵、米、大豆、野菜

経営面積：約10ha

職員：30名